

世界で一番貧しい大統領と言われた

ウルグアイのホセ・ムヒカ氏夫妻来日 テレビ取材

{ 君たちは本当に幸せなのか }

スーパーでいろんなものが買えるが人生の「時」を買うことはできない。買って、買って、買って、買い続けるそして人生の大切な時間を費やす、そんな社会なのだ。

全ての人生で費やせる時間の目的を見失っている、それでは人生の無駄遣い人生で最も重要なことは勝つことではない、歩み続けること。

自分自身に問うて、自分に一番大切なものを探してほしい。

{ 生き方とは夫婦のあり方 }

何度打ち負かされても、もう一度やり直す勇気を持つこと。

自分にとっての幸せを探すこと、世界は変わらなくても自分を変えられる！

我々は発展するために生まれてきたのではなく、幸せになるために生まれてきた。

貧しい人とは少ししか持っていない人ではなく、もっと！もっと！もっと！という人のことだ。

{ わたくしは貧乏ではない、質素なだけです }

国民のため・家族のため、国を変えるのだ！と思うことで生き抜けてきた。4度目の投獄から13年ぶり49歳で愛する妻とも13年ぶりで会えたが、そのときわたくしは例え、わたくしたちにひどい仕打ちをした人たちを怨もうとは思わなかった～憎しみからは何も生まれない。

人は投獄中の何も無いところでさえ学べ・幸せになれる。人間の文化を変えないと何も変わらないということに気づいた。

{ 世界で一番貧しい大統領ではなく、世界で一番豊かな大統領 }

国を治めるものの生活レベルは、その国の平均でなければならない、商売と政治を結び付けてはいけない、政治はお金ではなく名誉。

女性を選んでいるようで女性に選ばれていることに気づくことと・・・

(どうしたら好きな女性と一緒になれますかとの若い男性の質問に答えて)

人生の挫折について「投獄」されてしまった、どうすることもできない不可能な状態に挑むことは「それなりの犠牲を支払うべきだ」とそのことを学んだ。

{ 今一番欲しいものでは }

日本では

① 時間 17, 3% ② お金 16, 7%

ウルグアイでは

① 治安の良さ 16, 2% ② 健康 13, 7% ③ 時間 10, 3% ④ お金

{ 何のための時間ですか？ 何をするための時間ですか・・・ }

人生は一度きりで瞬く間に過ぎ去る、人生は時計のようなものです。

だから何に時間を使うのか？

なぜなら生きることは死に向かうことで、変えようのない人生におけるもつとも大切なこと！

富が幸せをもたらすとは思わない、希望があるから、生きていることに心から満足、幸せとは人生を愛し、憎まないこと、そのために大義・情熱を燃やす何かが必要。

{ 経済は何故存在するのでしょうそれは不足するものがあるから }

100年前に～水は不足していなかった、経済とは不足している財を如何に分配するかということ。

日本では高齢化が急速に進んでいる、一人暮らしの高齢者が孤独で苦しんで以前のように高齢者が幸せでない、日本は孤独な高齢者をサポートすべき。

国民と政府が一体となって税金を使うべき、自分も家族も一人では生きていけないのだから「政府」が必要。

現状に不満があるなら行動すべき、自分とそのあとに続く人のために・・・子供や子孫にどんな世界を残すのか、政治の真の利害はお金ではない、人々から慕われる名誉・愛情。

{ 問題はお金の好きな人が政治家になろうとすること }

そういう政治家を国民は信じない、ただしその政治家に失望することは試合を放棄すること、その絶望感こそがダメ、若者は世の中を新しくする希望そのもの、ただ肉体が若くても老いていることがありそれは最も危険なことです。

{ 幸せになるためには恐れないこと }

中長期的に仕事のことを考えて、多くの問題は経済の生み出す不安の要素から富を失うことに不安・持てないことに対する不安だ。

日本人はナショナリストで自信を持ち、昔の人たちが歩んできたことを若い人たちは忘れないでほしい、若い人たちに伝承されるということ。

日本は西洋化しすぎていないか？日本の文化・ルーツを忘れていないか？この世界は天国にも・地獄にもなる、来世この世界はどうなるのか？

{ 日本人には人類が行き着く未来がある }

現代の文明は多くのものを若者たちに求め、彼らを窒息させてしまう。わたくしたちは若い頃、文明の電気製品を持たなかった、今はそれを持って当然、多くのことを望みすぎて大切な時間を見失っている。

世界は物欲に引っ張られるより・必死に請求書を払い続けることより、人生はほどほど必要最低限りのことがあれば十分、物欲に走ってしまったら幸せになれない、クレバーに節度を持って生きていくことです。

後悔はいくらでもあるが、前向き・肯定的に人生を考えて、毎日前向きに生きています。

生きるということは間違ふということ・学ぶこと・ミスに葬られないことです年齢を重ねても頭を何かに集中させて・年を得たことに感謝することでどんな年代においても幸せになれます。

{ 民放の案内で町中を散策 }

観光案内のロボットを見て、ムヒカ夫妻は完全に表情が固まっていた、ロボットと共存していくことに。

日本はこんな消費主義でいいのか・・・東京の浅草寺参道の賑わいでは不機嫌大阪通天閣の商店街では焼き鳥店に入り、365日働いている店主に何のために働いているのかと問いかけた（店主は若い店員たちの為にと）

{ 絶対に行かねばならぬ・見ておかねばならぬ場所と広島へ }

14万人が無念を残した、かつて人類が残した「良心のない行為はとてつもない悪の選択となってしまうことを知らねばならない、人は同じ石でつまずく唯一の動物なのだから」

{ 家族の為に戦う、それだけでなく他人の為に }

自分たち夫婦には本当の子供はいませんが多くの家族がいる、そのために戦っている、貧しい人たちを救いたい～銀行強盗をやって必要な人たちに分けて、ロビンフッドと言われたこともある。

{ 二つの選択肢 }

- ① 生きる
- ② 私たちの人生を操縦すること
君たちはどちらを選ぶのか？

{ 我々の文明は破たんしている }

何故ならコントロールできないからです。
世界で莫大な軍事費、それを止められない、こんなに沢山生産できているのに、分配の仕方が良くなって多くの人が失望している。

世界中で1分ごとに2億円も軍事費を使っている～馬鹿げたことだ。
お金を稼ぐために働きすぎる、先進国になるほど豊かになるが、仕事を失うのが心配になる。

アマゾンには先住民が住んでいるが貧しくはない、独自の文化で楽しくやっている。

働かないで楽をすることを考えるからおかしくなる。
仕事を好きということは、労働ではなく幸せだから。

{ 忘れないでほしいことは }

無駄をやめて、何か少し価値のあることを残すこと。
周りの人も幸せでないと本当の幸せはない。

お金だけじゃあない、愛情や生きる喜びを、大切な人と過ごす時間をもっと持ったらよい。